

第2回 植樹記念祭



11月26日(土)第2回植樹記念祭を行いました。天気にも恵まれ風もあまり吹いておらず、良い焼き芋日和でした(*^^*)子ども達と木の成長を観察して、初めて参加する子ども達には木の苗を植えてもらいました。崎山保育園が今年度をもって閉園となるため、児童クラブ最後の記念にミモザの苗木をみんなで植えました。

その後は、皆さんお待ちかねの焼き芋タイムです。それと去年は“ぼっばずし”をしたのですが、今年は“手のひら団子”に挑戦しました。薪で沸かした釜のお湯に、手のひらで平べったく伸ばした団子を茹でて、たっぷりのきな粉でいただきました。子ども達に好評で、列を作っておかわり待ちをしていました(笑)一人5枚も食べた子もいましたよ！この後焼き芋食べれるかな、と心配していたのですが…しっかり食べていました(≧▽≦)

最後には、「また来たい!」「食べたい!」とみんな言ってくれたので、嬉しかったです♪

アンケート分析結果

12月号ではアンケート結果報告をさせていただきましたが、今回は分析して見えてきた事を報告したいと思います。

890枚(アンケート回収枚数)

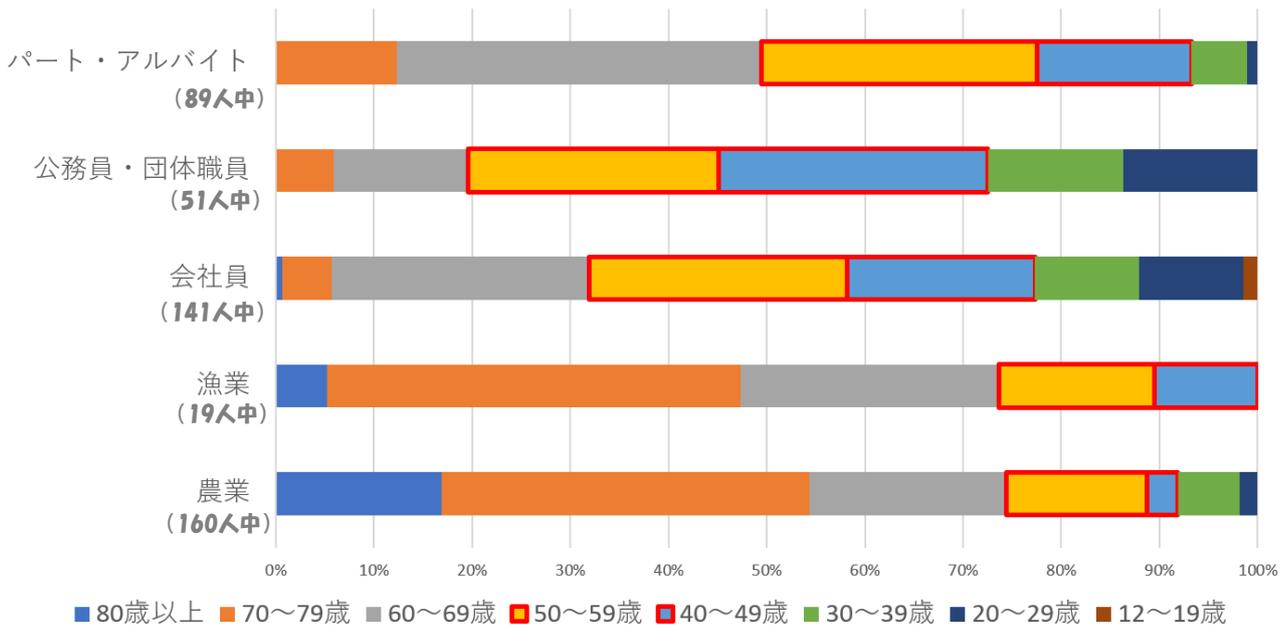
1438人(10月末岐山地区中学生以上人口)

≒

62%

全体の約62%、半数以上の方の意見が聞くことができました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

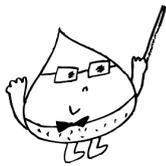
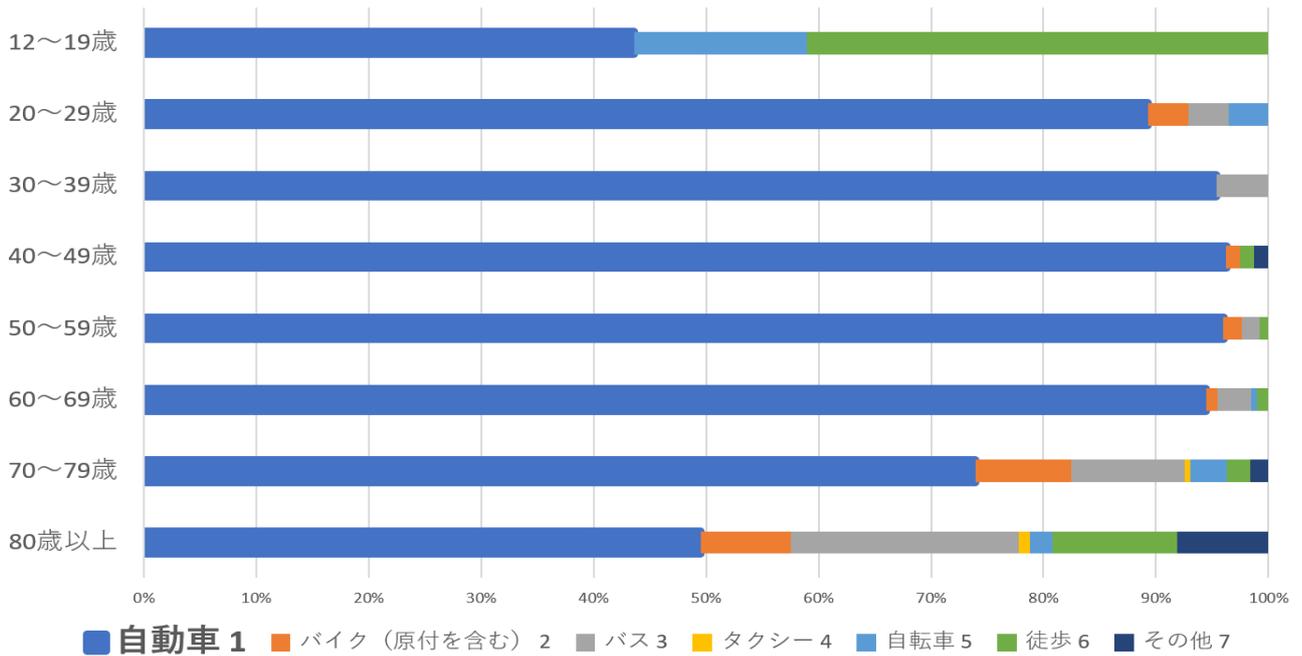
～ 世代別の職業分布 ～



岐山地区の高齢化率は(65歳以上)、約48%です。第一次産業(農業・漁業)の高齢化が、**70%を超えています**ね。50代からだんだん担い手が、少なくなってきています。漁業では30代からの若い世代が、特に少ないようです。改めて数字で見ると、後継者不足・少子高齢化を感じますね。

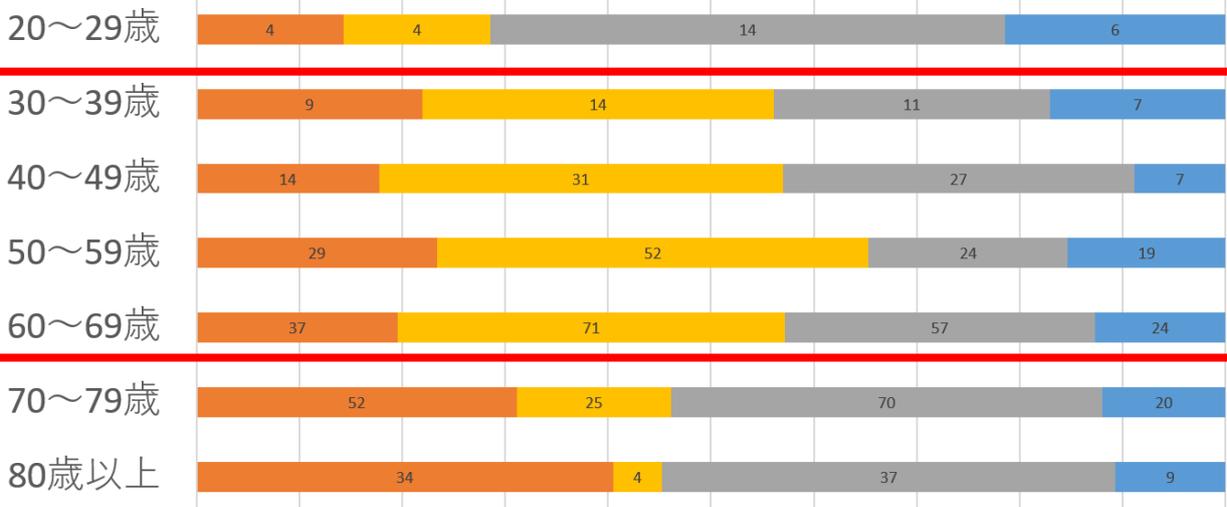
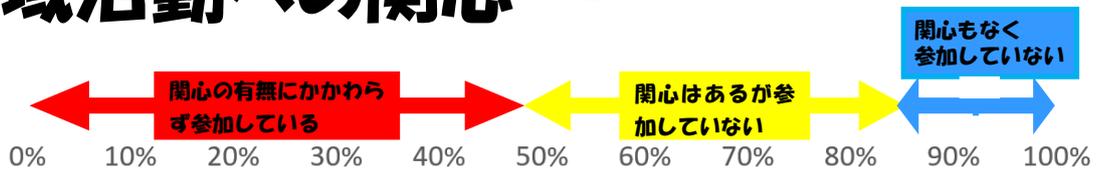
また70歳以上の方でも、農業・漁業・アルバイトなど頑張っている方がいます。

～ 世代別の移動手段の違い ～



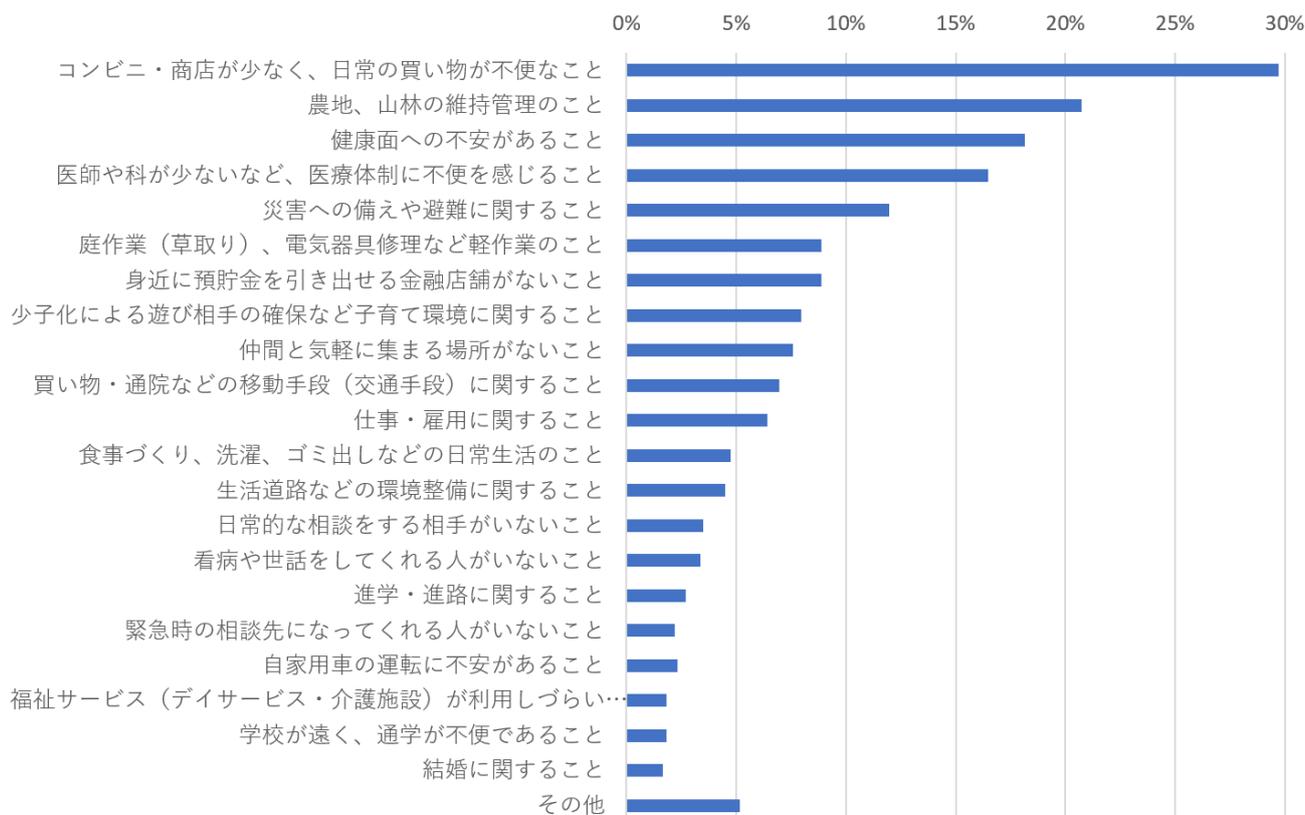
全般的に自家用車頼りの移動手段ですね。80歳以上の方の**約半数**が自動車を運転しています

～ 地域活動への関心 ～



■ 関心があり、積極的に参加している
 ■ 関心はないが付き合いで参加している
■ 関心はあるが、積極的に参加していない
 ■ 関心はないし、関わりたいたも思わない

～暮らしの中のお困りごと～



困りごとの上位が、

- ・ 買い物が不便
- ・ 農地の維持管理
- ・ 健康への不安
- ・ 医療の不便
- ・ 災害への対策
- ・ 庭の手入れ

なっています。“買い物が不便”は、50代以下の全ての年代でトップ、“農地の維持管理”においては、60代でトップになっています。70～80代のトップは、“健康への不安”になっています。

皆さんの声を紹介します



町内放送を自宅などで聞けるように、スピーカーなどを各家庭に設置して欲しい。(40代)

若者の崎山離れ、人手不足により年々活動が困難になりつつある。(40代)

台風等の自然災害時の避難場所・設備について、2年前の強い台風の時に、地区の高齢者を公民館まで送迎した。一人暮らしの高齢者が増えるなかで、近隣の協力・連絡体制がもっとスムーズにいけたらと感じた。公民館に簡易マットレスが常備されると良い。現在中学校が避難場所なのが不安という声を聞く。(30代)

～ 地域で実施している活動に対する 満足度と重要度 ～

世代間の特徴

世代のみで現れた特徴

全世代共通	10～20歳代のみ
スポーツサークルなど、地域内のスポーツ活動について 散策、まち歩きなど、地域の魅力を体験する活動について 敬老会など、主に高齢者対象の行事について	電子メールなど、IT を活用した住民向けの広報・連絡について 子ども会など、主に子ども対象の行事について 住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動について
広報紙や回覧板など、地区内での情報共有について	30～40歳代のみ
地区文化祭、サークルなど、生涯学習関連の活動について	婚活イベント、紹介など、結婚対策について
地区運動会など、地域のスポーツ大会について	70歳代以上
	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理について

～ お知らせ ～

9月に実施した、崎山地区住民アンケートの結果を報告したいと思います。12月・1月とまち協通信に掲載しましたが、改めて報告の場を設けたいと思います。厳しい寒さが続きますが、ぜひご参加ください。お待ちしております。

日 時： 令和5年 1月 29日（日） 13時30分～

場 所： 福江農業構造改善センター

対 象： 崎山地区住民の皆さま

会場は暖房が不十分ですので、暖かくしていらして下さいませよう、よろしくお願いいたします。

崎山地区まちづくり協議会一同

崎山地区人口統計表

(令和4年11月30日 現在)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	75	72	46	59	57	52	73	92	91	40	43
女	88	82	62	78	69	61	87	104	90	52	53
合計	163	154	108	137	126	113	160	196	181	92	96

崎山地区全体 男 700名 女 826名 計 1,526名 (先月比-1名)

崎山地区敬老祝品配布



11月6日(日)、崎山地区敬老祝品配布がありました。残念ながら今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祝品配布となりました。

現在崎山地区では、75歳以上が約25%です。その内、新規敬老者は15名いらっしゃいました。敬老者の皆さん、おめでとうございます🎉

朝から役員の皆さんは準備を行い、その後敬老者のお宅へお届け、本当にお疲れ様でした(*^*)祝品を受け取った方々も、嬉しそうにニコニコしていらっしゃいました(≧▽≦)



第101回 長手町敬老会開催



11月27日(日)「長手町敬老会」が開催されました。会食はありませんでしたが、いろいろな演芸を用意されていて、とても楽しい敬老会でした。長手町の小中学生は、「長手小学校校歌」斉唱と「ソーラン」を踊り、敬老者 VS 町民 VS 町役員・消防団の対決「長手歌合戦」、上五島の方達による踊りや三線を弾きながら唄う沖縄民謡と盛り沢山な内容でした。

長手町の敬老会の歴史は長く、今回第101回目となり、無事開催できて良かったですね。敬老者の皆さん、おめでとうございます。

～敬老の日の由来～

「敬老の日」の由来には2つ諸説があります。1つ目は飛鳥時代、時の天皇・聖徳太子はお年寄りや体の不自由な人達を無償で介護する、「悲田院」という施設を作ったのが、593年9月15日だったから説。2つ目は1947年に兵庫県多可町で始まった「おとしよりの日」を由来とする説です。多可町では農作業が一段落する9月15日に、村のお年寄りを集めて「敬老会」を開いていました。敬老会とは、お年寄りたちを敬い、お年寄りの知恵を借りて村づくりを目指す集まりのことです。この「お年寄りを大切にする」という思いが小さな村から全国に広まり、1965年9月15日に国民の祝日「敬老の日」が誕生しました。

崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389